OUKA
The University of Osaka
Institutional Knowledge Archive

Title	含翠堂（土橋）文庫目録 : 続
Author(s)	
Citation	
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/61387
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

https://ir.library.osaka-u.ac.jp/

The University of Osaka

含翠堂(土橋)文庫目録 —続

大阪大学附属図書館

一九八四年

序

坂上田村麻呂の息広野麻呂に始まる摂津国平野郷に、その子孫は連綿と栄え七名家を形成し、土橋家はその中にあって江戸時代惣年寄役として為政に尽し、文化方面にも大きい貢献をなした。儒・医そして歌道を京の地に兼学した十三代土橋友直は、同志を糾合して郷土に子弟教育の場として含翠堂設立を計り、その理想を見事実現した。彼はまた同地杭全神社の連歌所を中心としての文芸活動をも活発に行い、一族挙げて協力し、その交友関係も多彩をきわめた。

本館では先に昭和四十六年『含翠堂(土橋)文庫目録』一冊を公刊した。文学部国史研究室の関係者の編纂にかかり、含翠堂・土橋家旧蔵書のうち、文芸関係資料と書簡類を除く、旧記・蔵書類を収めたものである。本目録はそれに引き続き、土橋家の文芸関係資料を収録する。

文学部国文研究室においては、研究者の利用の便宜をはかり、昭和二十九年より『語文』誌の第十二・十三・十五号の三輯にわたって「土橋家旧蔵書目録」を掲載してきた。田中裕助教授(当時)の解説を付して、連歌作品と土橋友直の歌学の師河瀬菅雄の著作を中心にした、主要書の紹介がここになされている。昭和四十六年、田中教授・信多純一助教授(当時)を中心に文部省科学研究費による文芸関係資料の整理作業が行われ、それについで教養部島津忠夫教授の指導の下文学部国文研究室関係諸氏の手により、目録原稿の完成を見るに至った。

以上の経緯をもって、含翠堂(土橋)文庫の全容を示す、前後二冊の目録の公刊の日を迎えた。今後ひろく研究者に本文庫の御利用を頂き、学問の進展に寄与することが出来ればまことにさいわいである。

最後に、長きにわたり本文庫の整理、目録作成に御尽力頂いた上記関係者各位に対し、深く謝意を表するものである。

昭和五十九年一〇月

大阪大学附属図書館長　三川禮

2017 年 6 月現在、『含翠堂（土橋）文庫目録：続』（1984）
所収の資料は、附属図書館には所蔵されていません。
当該資料は、大阪大学文学研究科に所蔵されています。

凡　例

本目録は次の要領によって作成した。

一、記載事項は、書名・書型・巻冊数・著編者名・書写出刊年次及び写刊の関係者・刊写の別・函架番号と、若干の注記である。

1、書名は主として内題により、それを欠き、又は不適当と思われるものは外題によった。必要に応じて外題を（　）に包んで記したところもある。また、書名を補ったものは〔　〕に包んだ。

2、書型は、大本は大、半紙本は半、中本は中、小本は小、横本は横、升形本は升の符号による。規格に合わないものも、それに準じた。

3、連歌懐紙は四枚一綴であるが、綴の切れたものが多いので、枚数で数え懐紙四などと記した。一枚の懐紙が完全に形を残していないものは懐紙断簡とした。和歌懐紙は連歌懐紙と区別するため、懐紙二葉などと葉を添付し記した。

4、巻冊数は上に巻数、――をはさんで下に冊数を示す。一巻一冊の場合は一とのみ記した。

5、著編者は記載された称に多くより、姓の明確なものは姓を補った。著編者の不明のものは記さなかった。

6、出刊書写年次は、年のみで月日に及ばない。その年次未詳のもので、序跋や近い頃と思われる奥書識語を参考にかかげたものもある。また、写本の場合は、筆写原本の奥書を参考にのせるものもある。書写年次等を推定によって示す場合は〔　〕に包んだ。

7、写刊の関係者には、出刊書肆の代表や筆者をあてる。

8、合綴のものは、その内容を簡略に付記した。

一、配列は、本文庫に相応すると思われる分類表を用いて分類配列した。その表は巻首にかかげる。

一、本目録の要領は、もっぱら『肥前島原松平文庫目録』を参考にした。

一、本目録作成にあたった者は、松原秀江・黒木祥子・藤田真一・寺島樵一・山本一・富田志津子で、最終的に寺島と私とで原本に当って統一し、割付等の整備を山本が行った。

一、さきに国史研究室の編に成った『含翠堂（土橋）文庫目録』（昭和四十六年十二月一日大阪大学附属図書館刊）と一体となるべきものであるが、本目録は国文学研究室に保管されているもののみによった。

（島津忠夫）

分類表

A、総記
B、宗教
C、歴史・地理・有職
D、工学
E、諸芸
F、和歌
　1、歌論・歌学
　2、勅撰集
　3、私撰集
　4、私家集
　5、定数歌
　6、歌合
　7、詠草集
　8、和歌雑書
G、狂歌
H、連歌
　1、連歌論書・連歌学書
　2、連歌撰集
　3、句集
　4、発句集
　5、千句
　6、百韻
　7、百韻注釈
　8、連歌集
　9、三物
　10、連歌雑書
I、俳諧
J、漢詩文
K、物語
L、日記・紀行・随筆
M、歌謡
N、謡曲
O、狂言
P、浄瑠璃

A 総記

扶桑拾葉集序 付、目録	大	一	徳川光圀編	〔江戸初〕	写 A1
扶桑拾葉集 巻第三十	大	一	徳川光圀編	〔江戸初〕	写 A2

B 宗教

家君御著述喩俗俚言	大	一	土橋節斎	自筆	B1
家庭指南	大	一	綾部有終	安永九跋	刊 B2
抜隊和尚法語	半	一		寛永二十奥転〔江戸中〕	写 B3
日本書紀神代講述鈔	大五—二		度会延佳講述山本広足等稿		刊 B4
如願寺縁起	半	一		大永七奥転〔江戸末〕	写 B5
三輪物語	半八—四		熊沢伯継	〔江戸中〕	写 B6
神道□事秘	折	一		明治十五	写 B7
志斐賀他理 上	大	欠一	平玄道		刊 B8
〔桑津光津寺什物控帳〕	半	一		文化十三 恒斎	写 B9

C　歴史・地理・有職

慶元記	大四―二			土橋宗静	写	C 1
啓運記	半四―一			〔江戸末〕	写	C 2
夜会記	大四―二			〔江戸中〕	写	C 3
切支丹実録	半　一			〔江戸末〕	写	C 4
武野燭談	大五―三			延享二　土橋良慶	写	C 5
かはしまものがたり	大　一		加藤景範	明和八跋	刊	C 6
出会処之誡書	半　一		北条氏朝	宝永五　土橋宗信（良慶）	写	C 7
職原鈔　上	大　欠一		北畠親房		刊	C 8
大槐秘抄	大　一		九条伊通	元禄五　四辻公韶	写	C 9
正休公覚書之内抜書	横　一	寛永十一～十四		土橋良慶	写	C 10
宗静公聞書之内	横　一			〔江戸中〕	写	C 11
〔光源寺書付〕	一枚			〔江戸中〕	写	C 12
御大祖真休斎宗静尊霊百五十回御忌	横　一		土橋道礼	弘化四　自筆		C 13
〔京名所づくし〕	横　一			〔江戸末〕	写	C 14
円位上人古墳記	半　一		似雲	〔江戸末〕	写	C 15

D 工学

悟遠近　巻第七　升　欠一　〔江戸初〕　写　D1

E 諸芸

行書蘭亭帖　大　一　菱湖　刊　E1

利休百首之茶歌　半　一　文化十一　佐々木春之　写　E2

F 和歌

1 歌論・歌学

詠歌之大概　大　一　藤原定家　土橋良弘臨書転〔江戸中〕　写　F1・1

詠歌大概　半　一　藤原定家　〔江戸中〕　写　F1・2

付、秀歌躰大略・百人一首

和歌色葉　下　大　欠一　上覚　〔江戸初〕　写　F1・3

詠歌一躰　半　一　藤原為家　寛保三　写　F1・4

桐火桶　大　一　〔江戸初〕　写　F1・5

古今和歌集灌頂口傳　大二―一　明応二年奥転〔江戸初〕　写　F1・6

柿本講式　大　一　延享三　土橋良慶　写　F1・7

濱のまさご　半二―二　有賀長伯　元禄十　中野六右衛門　刊　F1・8
和歌八重垣　小七―一　有賀長伯　元禄十三　山岡四郎兵衛・同甚四郎　刊　F1・10
和歌八重垣　七　小　欠一　有賀長伯　享保九　山岡四郎兵衛　刊　F1・9
正木のかつら抜書　半　一　享保二十　土橋保長　写　F1・11
良慶公和歌抜書　下　大　欠一　〔江戸中〕　写　F1・12
定家卿真筆写和歌書様會法　大　一　享保十九　土橋良弘　写　F1・13
〔歌詞手引〕　半　一　〔江戸中〕　写　F1・14

2　勅撰集

古今和謌集　大二十―二　紀友則等奉勅撰　謌和智屋　刊　F2・1
古今見聞抄　半　欠三十七―四十　河瀬菅雄　元文四　土橋包白　写　F2・2
存一～四、十、十一、十四～二十七、三十～三十九、四十四～五十
後撰和歌集　大二十―二　大中臣能宣等奉勅撰　冷泉為綱筆本転元文四医林斎　写　F2・3
〔勅撰集（自後撰至千載）抜書〕　大　一　〔江戸中〕　写　F2・4
詞花抜書　中　一　〔江戸中〕　写　F2・5
三大集抜書　横　一　〔江戸末〕　繁風　写　F2・6
〔勅撰集（自後撰至千載）抜書〕　大　一　〔江戸中〕　写　F2・7

八代集抄抜書　古今	半	一		〔享保頃〕	誠斎（土橋友直）	写	F2・8
九代抄	大	一	肖柏編	〔江戸中〕		写	F2・9
3　私撰集							
みやまさくら（夫木等抜書）	横	一		〔江戸中〕		写	F3・1
自讃歌	半	一		〔江戸中〕		写	F3・2
自讃歌抄	大	一	宗祇	寛延二		写	F3・3
付、兼載注傍書							
〔自讃歌注〕	中	一（首欠）	宗祇	〔江戸中〕		写	F3・4
小倉山庄色紙和歌	大	一		〔江戸中〕		写	F3・5
百人一首左祢葛	半八―八		河瀬菅雄	〔江戸中〕		写	F3・6
歌仙貝之図	半	一		元禄二	田中忠珍	刊	F3・7
集外歌仙	小	一		宝永五	土橋宗賢	写	F3・8
加不知集	半	一	中西重孝			刊	F3・9
藻塩草（抜書）	半	一		宝永六	土橋良慶	写	F3・10
〔和歌類葉集抜書〕	横	一		辻葩資俊		写	F3・11

4　私家集

忠度集	大	一	元禄十三	茨谷岸定	写	F4・1
為家集	半二―八		元禄七	出雲寺和泉掾	刊	F4・2a
亜槐集	大	一	〔江戸中〕		写	F4・2b
雪玉集	半十八―九		宝暦七	正晴	写	F4・3
貞徳和謌	中	一	宝永七		写	F4・4
後水尾院御集	大	一	貞享元〔土橋宗静〕		写	F4・5
〔酔露翁加点詠草〕	大	一	〔江戸初〕		写	F4・6
巻懐集	横九―一		〔延享・宝暦頃〕		写	F4・7
〔歌行脚（庚申年）〕	半	一	〔江戸中〕		写	F4・8
おひのさち	半	一	文政六序		刊	F4・9

飛鳥井雅親
三条西実隆
松永貞徳　細川玄旨点
土橋包白（敬直）
藤本よし房

5　定数歌

堀川院百首和歌	大三―三		慶安二	出雲寺和泉掾	刊	F5・1
堀河院次郎百首	半三―三		延宝四	林和泉掾	刊	F5・2
後鳥羽院御百首	中	一	宝永七	土橋宗信（良慶）	写	F5・3
（遠島百首幷仙洞歌合）						
沢庵和尚百首	中	一	〔江戸中〕		写	F5・4
沢庵和尚詠歌	大	一	〔江戸中〕		写	F5・5

平野一日千首探題和歌百五首	半	一	土橋友直	〔自筆〕	写	F5・6
百首和歌	半	一	末吉宗律・末吉宗伴・土橋友直	土橋友直	写	F5・7
奉納三吟和歌（元禄十四聖廟奉納）	半	一	河瀬菅雄等	〔江戸中〕	写	F5・8
堺浦天満宮法楽百首和歌（元禄十五）	半	一	鷹司兼熙等	〔江戸中〕	写	F5・9
奉納柿本宝殿百五十首和歌（享保元）	半	一	河瀬菅雄等	〔江戸中〕	写	F5・10
同門和歌百首案（大乗院御所依仰集録）	半	一	隆尊等　元文五奥野保悟序	〔江戸中〕	写	F5・11
弾正尹美仁親王百首	半	一		文政元　土橋宗礼	写	F5・12
平野郷社一日千首内百首	半	一		〔江戸中〕	写	F5・13
両吟一日百首和歌二百首			土橋宗信・正能・さち子			
平野郷社一日千首内百首			土橋友直・土橋宗信（良慶）、河瀬菅雄点			
両吟一日百首和歌二百首						

6　歌　合

殿上根合（永承六）	半	一		〔江戸初〕	写	F6・1
付、人丸影供歌（永久六）						
毘沙門堂大納言為兼佐州の嶋にての詠歌二十三首						
〔宮河歌合〕	半	一（首尾欠）	西行	〔江戸初〕	写	F6・2
〔十二番歌合〕	中	一	土橋友直等	〔江戸中〕	写	F6・3

7 詠草集

永正七年十月廿五日勅題	半	一	貞敦親王	〔江戸中〕	写	F7・1
寛永十六年九月廿八日御夢想聖廟御法楽	半	一	飛鳥井雅章等	〔江戸中〕	写	F7・2
付、貞享元年九月十三日御当座						
享保十九年八月廿五日天満宮御法楽						
貞享二年九月廿三日御当座御内会・同日後座						
元禄十一年五月廿七日御当座						
試筆和歌	半	一	中院通茂等	〔江戸中〕	写	F7・3
元禄十四年三月廿日和歌	半	一	土橋友直等　河瀬菅雄題	〔江戸中〕	写	F7・4
酔露堂試筆歳暮和歌（享保六年）	半	一	河瀬菅雄等	〔江戸中〕	写	F7・5
〔御当座御会和歌（享保七―宝暦八）〕	半	一	日野資時等	〔江戸中〕	写	F7・6
〔御当座御会和歌（享保年間）〕	大	一	藤谷為信等	〔江戸中〕	写	F7・7
〔御当座御会和歌（貞享年間）〕	中	一	日野資時等	〔江戸中〕	写	F7・8
元文四年将軍家御所望名所和歌四十八首	大	一	中院通躬等	〔江戸中〕	写	F7・9
〔源直詠草（寛保元―寛延元）〕	半	一	源直	〔江戸中〕	写	F7・10
宝暦六年六月廿四日月次御会	半	一	正親町実連等	〔江戸中〕	写	F7・11
宝暦十二年四月十八日冷泉為村卿洛陽観音卅三所御巡参和歌	半	一	冷泉為村	〔江戸中〕	写	F7・12

詠艸（嘉永七）	中	一	土橋道礼	自筆	F7・13
詠艸（安政二）	中	一	土橋道礼	自筆	F7・14
〔百首題和歌稿〕	半	一		〔江戸末〕	写 F7・15

8　和歌雑書

〔和歌詠草（一二三和歌・三体和歌等）〕	横	断簡二葉		〔江戸中〕	写 F8・1
元禄十三年十二月廿四日従仙洞中院大納言通茂卿給七十賀御短冊写廿首		断簡三葉	霊元院等	〔江戸中〕	写 F8・2
元文五年六月廿七日御当座		懐紙二葉	有賀長伯等	〔元文五〕	写 F8・3
〔和歌稿二首〕		断簡一葉	土橋友直	〔自筆〕	F8・4
〔詠野虫和歌二首〕		懐紙一葉	土橋友直	自筆	F8・5
〔詠雨夜思花二首〕		懐紙一葉	土橋友直	自筆	F8・6
〔詠霞隔行舟五首〕		懐紙一葉	土橋友直	自筆	F8・7
〔和歌七首〕		懐紙一葉	土橋友直	自筆	F8・8
〔享保五年卯月歌会詠草〕		一巻	土橋友直等　河瀬菅雄点	〔享保五〕	写 F8・9
〔当座詠草十二首〕		三葉	土橋宗信（良慶）等	〔江戸中〕	写 F8・10
〔八十賀給題和歌八首〕		一葉	河瀬菅雄等	〔江戸中〕	写 F8・11
〔春夏和歌稿〕		一巻	土橋友直　河瀬菅雄点	自筆	F8・12

〔和歌詠草（平野郷社奉納之内）〕	一巻	土橋友直	〔自筆〕		F8・13
〔和歌詠草〕	一巻	土橋友直　河瀬菅雄点	〔自筆〕		F8・14
当座五十首和歌	一巻	如庵等　河瀬菅雄点	〔土橋友直〕	写	F8・15
〔和歌稿〕	断簡四葉	紀軌	〔江戸中〕	写	F8・16
〔和歌稿〕	一葉	長経	〔自筆〕		F8・17
〔和歌控（文政二・三）〕	懐紙一	宗礼	〔自筆〕		F8・18
安政二卯八月卅日新家村不動院当座	懐紙一	土橋道礼	〔自筆〕		F8・19
地下打聞等	中　一	辻葩政房等	〔江戸中〕	写	F8・20
付、ひとりの枕序・深草元政腰張之説・牡丹花三愛記					F8・21
反古　下（巻懐集巻十一以下等抜書）	横　一		〔江戸中〕	写	F8・21
和歌集	横　一	後水尾院等	〔江戸末〕	写	F8・22

G 狂歌

狂歌俗名所座知抄　上	横　欠一	養老館路芳	寛政七序	刊	G1
狂歌道の栞	横　一	千里亭藪虎	文化八序　千里亭扇屋利助	刊	G2
〔狂歌手毎の花　三編〕	中　一	文の屋茂喬編	文化九　吉田屋新兵衛	刊	G3
町人日用狂歌	横　一	河合遊外	土橋宗信	写	G4

田村宮奉額狂歌　地巻（平野郷社中）	半	欠一			文政三	写	G5
狂歌浦島のうら	横	一	一雄撰		文政三	写	G6
〔杭全社奉納狂歌〕	横	一	蟻乗撰		文政四	写	G7
〔辻葉追悼狂歌〕	横	一			文政四　蟻乗	写	G8
〔三上里翁追悼狂歌集〕	横	一			文政五	写	G9
戎曲西の色物	横	一			文政六	写	G10
納会狂歌順撰玉吟十七章	横	一	随朝斎有来撰		文政六	写	G11
山中亭猪ノ丸霊追善狂歌集二百四十余首	半	一			三日坊撰	文政六	写	G12
奥野首尾丸霊追善狂歌集二百七十余首	大	一	一文舎編		天保四	写	G13
〔狂歌集抜書〕	半	一			〔江戸中〕	写	G14
飯成社奉燈夷曲八十二首	半	一	集者芦笛　行司花橋　随古斎点		〔江戸末〕	写	G15
稲生社奉燈夷曲集	半	一	芦笛編		〔江戸末〕	写	G16
夷曲月並各詠集	大	一	平野郷社中芦笛編　一寿亭点		〔江戸末〕	写	G17
無何有舎里翁霊小祥忌追悼狂歌集三百四十余首	大	一	平野郷社中一寿亭点		〔江戸末〕	写	G18
月並狂歌集八十四首	半	一	随今斎山本好古点		花橋	写	G19

平野惣一連三題夷曲ことわりあらそひ四十一番

半　三　雨淩編　随今斎等点　〔江戸末〕　写　G20

嶋臺　横　一　観豆舎寿柊編　〔江戸末〕　写　G21

狂歌秀詠二十首（熨斗こんふ）　横　一　随今斎好古撰　〔江戸末〕　写　G22

〔狂歌詠草〕　懐紙一　花橋　文政七　自筆　G23

〔狂歌詠草（文政五年八月、十月、一本亭勧進七題等）〕　懐紙四　花橋　自筆　G24

〔狂歌詠草〕　懐紙一　花橋　文政四　自筆　G25

〔狂歌詠草〕　懐紙一　花橋　文政五　自筆　G26

〔狂歌詠草〕　懐紙一　花橋　文政六　自筆　G27

〔狂歌詠草〕　懐紙一　転根　則斎無事丸点　自筆　G28

〔狂歌詠草〕　懐紙一　転根　稲田豊丸点　自筆　G29

〔狂歌詠草〕　懐紙一　芦笛　文政五　自筆　G30

〔狂歌詠草〕　懐紙一　芦笛　自筆　G31

〔狂歌詠草〕　懐紙一　綿丸　自筆　G32

〔狂歌詠草〕　懐紙一　綿丸　自筆　G33

〔狂歌詠草〕　懐紙一　梅枝　自筆　G34

〔狂歌詠草〕　懐紙一　梅枝　自筆　G35

〔狂歌詠草〕　懐紙四　松月　自筆　G36

〔狂歌詠草〕　懐紙二　転寝　自筆　G37

〔狂歌稿〕　懐紙一　〔江戸末〕　写　G38

〔狂歌詠草（文政年間）〕　懐紙五　〔江戸末〕　写　G39

詠艸（嘉永四～文久二）　升一　藪向舎道礼　自筆　G40

H 連歌

1 連歌論書・連歌学書

筑波問答　大一　二条良基　貞享元　写　H1・1

知連抄　大二―一　永正七奥転〔江戸初〕　写　H1・2

知連抄　半一　文化五　土橋重賢　写　H1・3

付、初心抄、老のすさひ

〔連歌比況集〕　大一（尾欠）　宗長　〔江戸初〕　写　H1・4

若草　升一　兼載　松千代写転〔江戸初〕　写　H1・5

付、兼載独吟何人百韻

水蛙　大一　〔江戸中〕　写　H1・6

一言　横一　心敬　慶長十八転〔江戸初〕　写　H1・7

付、伝宗長連歌論

初心抄　半一（一葉脱落）　〔江戸初〕　写　H1・8

付、二条殿日発句、宗砌新式目歌

至宝抄	大	一	里村紹巴	〔江戸中〕	写	H1・9
至宝抄	大	一	里村紹巴		刊	H1・10
〔連歌新式抄〕	中	一		慶長十七転〔江戸中〕	写	H1・11
法眼昌琢説聞書幷寛佐聞書	横	一		延宝四　土橋宗静	写	H1・12
付、連歌不審条々宗祇宗長尋明・賦物篇						
四季景物	横	一	里村昌琢	渡辺宗賢筆本転〔土橋宗信(良慶)〕	写	H1・13
連歌秘極抄	大	一		元文二　土橋保長筆本転三宅丈敬	写	H1・14
手尓遠波口伝	升	一	河瀬菅雄	宝暦四　土橋重栄	写	H1・15
付、手尓遠波切紙						
機案記	大	一	土橋宗信(良慶)	延享四　自筆		H1・16
付、てにをはの説						
愚聞雑記	横	一	土橋宗静	寛文二　自筆		H1・17
良慶公手書	大	一	土橋良慶	自筆		H1・18
四道之事句作之根源	横	一		〔江戸中〕	写	H1・19
二十一代集所賦地名	横	一		〔江戸中〕	写	H1・20a
〔いろは引連歌寄合　乾〕	升	欠一		〔江戸中〕	写	H1・20b
〔和歌初心抄〕	大	一	了意	寛永四	刊	H1・21
随葉集	大三一	一		慶安四　三宅玄賀奥本転〔江戸初〕	刊	H1・22・
随心集	横	一	随心		写	H1・23

随心集	大	一	随心	慶安四、三宅玄賀奥本転(江戸初)	写	H1・24
温故日録	大十三―六		杉村友春	元文四　柏原屋清右衛門・与市	刊	H1・25
付合小鏡	中	一		延宝七　野田藤八(所蔵者書込多し)	刊	H1・26
付合小鏡	小	一		貞享二　永田長兵衛	刊	H1・27
名所小鏡	中	一		貞享二　永田長兵衛	刊	H1・28
連歌安心集	小	一	安心院重清		刊	H1・29
菟玖婆廼山口	折	一	坂昌功	天保四跋	刊	H1・30

2　連歌撰集

竹林抄	大十―三		宗祇編	元文四　土橋包白	写	H2・1
新撰菟玖波集	大二十―二		宗祇等編	(江戸中)	写	H2・2
三籟集	横	二	西山昌林編	享保十九　西山氏蔵版	刊	H2・3
(連歌七人付)	大	一	日与等	(江戸中)	写	H2・4
付、二十四人連歌之歌仙・歴代連歌達人連歌古書						
三六番前句附連歌合(正保九)	半	一(尾欠)	能順等	三上令直	写	H2・5
里村昌純前句付点之覚	欠	一巻	了哲等	(江戸初)	写	H2・6

3　句集

老葉	半十―二		宗祇	(江戸初)	写	H3・1

老葉　横十―一　宗祇　慶長十六奥〔江戸初〕　写　H3・2
付、〔宗祇付句越後より上卅句之内肖柏合点十一句〕

下草内抜書　中　一　〔江戸中〕　写　H3・3
付、〔等恵等附句抜書〕

壁草聞書　横十―一　宗長　元禄九　白雲軒　写　H3・4

里村宗匠昌寅先生席附句集（寛政年間）　横　一　〔寛政〕　写　H3・5

関東武州比丘尼連歌　横　一　三上令直　写　H3・6
付、〔付句集等〕

4　発句集

発句帳　中　四　寛文六　長尾平兵衛　刊　H4・1

長州一之宮奉納発句　半　一　里村昌陸等　元禄十　西脇利房奥　刊　H4・2

連歌梅の雫　中　二　能順　正徳四　糟渕権兵衛　刊　H4・3

三十歩社法楽（宝永七―天明四）　中　一　土橋宗静等　〔江戸中〕　写　H4・4

懐旧連歌（貞享四―天明八）　中　一　奥野清順等　〔江戸中〕　写　H4・5

歳旦発句帳（宝永四―六）　半　一　西山宗春等　〔江戸中〕　写　H4・6

発句集　半　一　天明七　貫斎　写　H4・7
土橋七郎衛重昌識語

5　千句

三島千句　中　一　宗祇　〔江戸中〕　写　H5・1

大原千句　半　一　細川藤孝等　元禄十三　写　H5・2

〔独吟千句集〕　中　一　〔江戸中〕　写　H5・3

了意独吟千句・永禄六年十二月紹巴独吟千句

〔独吟千句集〕　横　一　〔江戸中〕　写　H5・4

心前独吟千句（紹巴点）・了意独吟千句（紹巴点）

玄仍独吟七百韻連歌　半　一　〔江戸中〕　写　H5・5

琢出座十巻　横　一　里村昌琢等　〔江戸中〕　写　H5・6

一、山何連歌百韻　同（元和）六年六月十六日

二、何人連歌百韻　同六年九月十五日

三、何人連歌百韻　同六年九月廿四日

四、初何連歌百韻　同六年十月八日

五、初何連歌百韻　同六年十月十一日

六、何木連歌百韻　発句、行人の道をさだめぬ枯野かな

七、何人連歌百韻　発句、思ひ出や今朝大ひえに冨士の雪

八、何人連歌百韻　発句、雲風や空に待あへぬはつ時雨

九、山何連歌百韻　発句、花に人末たのみあるあふちかな

十、何船連歌百韻　発句、雪にさへたゝしき松の姿かな

〔於小堀遠江守殿独吟四百韻〕　半　一　西山宗因　元禄十二　写　H5・7

寛永廿一年三月千句　大　一　長明等　〔江戸中〕　写　H5・8

〔妙風庵主追懐千句（慶安二）〕　横　一　西山宗因　〔江戸中〕　写　H5・9

承応三年冬月五日於権現千句　半　一　長秀等　〔江戸中〕　写　H5・10

桜御所千句　横　一　梧（近衛信尋）等　明暦四　土橋宗静　写　H5・11

〔千句抜書（小倉千句）〕　大　一　〔江戸中〕　写　H5・12

元禄八年八月日輪寺興行以下抜書

裏、小倉千句

於豊前小倉城御賀之千句（小倉千句）　半　一　西山宗因　〔江戸中〕　写　H5・13

於豊前小倉城御賀之千句（小倉千句）　横　一　西山宗因　享保二十　土橋保長　写　H5・14

元禄四年正月十六日千句　横　一　末吉宗久等　元禄四　土橋宗静　写　H5・15

〔元禄五年極月廿八日亡父懐旧千句〕　横　一　末吉宗久　元禄六　土橋宗静　写　H5・16

〔元禄五年極月廿八日亡父懐旧千句〕　横　一　末吉宗久　〔江戸中〕　写　H5・17

元禄十四年二月廿五日下総国本所亀井戸東安楽寺聖廟八百年忌千句　半　一　高辻豊長等　〔江戸中〕　写　H5・18

伊勢千句　寛延二年五月廿八日　横　一　弘道・土橋良慶・舒成　〔江戸中〕　写　H5・19

道明寺奉納千句　横　一　末吉宗伴・土橋長慶・常興　〔江戸中〕　写　H5・20

四吟千句連歌　横　一　末吉宗伴・土橋宗信（良慶）・奥野清順・常興　〔江戸中〕　写　H5・21

長松朝臣独吟梅千句（文化九）　横　一　滋岡長松　文化九　岡南曲　写　H5・22

6　百韻

新撰菟玖波集撰祈禱連歌（明応四）　半　一　宗祇等　〔江戸中〕　写　H6・1

賦朝何連歌（寛永二・二・十五）　懐紙四　宗智等　寛永二　写　H6・2

（第八とあり、千句のうち）

上宮太子千五拾年忌百韻　懐紙四　以春　里村祖白奥〔寛文十〕　写　H6・3

以春百韻（寛文十・二・二十三　上宮太子千五十年忌）　半　一　以春　宝永二　土橋宗信（良慶）　写　H6・4

独吟百韻　半　一　以春　〔江戸中〕　写　H6・5

発句、空蟬の世にも似さりし別哉

亡母廿五回忌懐旧之連歌　横　一　以春　里村祖白点　〔江戸中〕　写　H6・6

発句、世のなみた袖になかる、月日哉

〔元禄頃連歌集〕　半　一　〔江戸中〕　写　H6・7

一、首欠。里村昌億等百韻

二、元禄十三年正月廿四日、日輪寺興行山何百韻　里村昌億等

三、元禄十三年二月十日、烏森山田宮内興行百韻　里村昌億等

四、元禄十三年二月十四日、武江芝神明神主西東刑部張行　里村昌億等

賦何人連歌（貞享元・二・二十五）　懐紙四　三上令直等　〔貞享元〕　写　H6・8

賦山何連歌（貞享二・九・二十五）　懐紙四　三上令直等　〔貞享二〕　写　H6・9

賦何木連歌（元禄十・十二・三）　懐紙四　三上令直等　〔元禄十〕　写　H6・10

昌海独吟（元禄十一・十二・十三）　横一　昌海　〔江戸中〕　写　H6・11

発句、今そしる露をは露と憂世哉

賦山何連歌（元禄十二・四・二十四）　懐紙四　三上令直等　〔元禄十二〕　写　H6・12

賦初何連歌（元禄十二・九・十九）　懐紙四　三上令直等　〔元禄十二〕　写　H6・13

東武御城御会連歌（元禄十三・正・十一）　半一　里村昌億等　〔江戸中〕　写　H6・14

賦何垣連歌（元禄十三・二・二十四）　懐紙四　三上令直等　〔元禄十三〕　写　H6・15

賦唐何連歌（元禄十五・正・十）　懐紙四　如幽等　〔元禄十五〕　写　H6・16

賦何人連歌（元禄十五・五・二十九）　懐紙四　末吉宗伴等　〔元禄十五〕　写　H6・17

朝何（元禄十五・九・五）　懐紙一　春翁等　〔元禄十五〕　写　H6・18

何舟（元禄十二・十四　土橋宗静天神開）　懐紙二　西山宗春等　〔元禄十〕　写　H6・19a

〔宗春等百韻〕　懐紙欠一　〔元禄頃〕　写　H6・19b

発句、いのち長きためしも終はなつの哉

後半の五十韻欠

何路（元禄十六・六・二十六　於皆山亭瑛兼興行）　懐紙二　瑛兼等　〔元禄十六〕　写　H6・20

〔玄春様霜月十日会連歌残欠〕　懐紙一　如幽（三上令直）等　〔元禄十六〕　写　H6・21

元禄十六年六月廿六日於皆山亭瑛兼興行何路百韻の表六句目までの書きつぶしの余白に記す。

何人（宝永元・十・十四）　懐紙二　明氏等　〔宝永元〕　写　H6・22
夕陽庵
何人（正徳三・正・十一）　横一　里村昌億等　〔江戸中〕　写　H6・23
〔百韻（正徳六・三・一）〕　懐紙一　如幽（三上令直）等　〔正徳六〕　写　H6・24
〔百韻（享保四・二・一）〕　懐紙一　西山宗春等　〔享保四〕　写　H6・25
土橋九郎右衛門宛書状裏
〔百韻（享保四・二・一）〕　懐紙一　奥野祐可等　〔享保四〕　写　H6・26
追悼之連歌（延享三・二・十二）　打曇懐紙四　宗政等　〔延享三〕　写　H6・27
賦何路連歌（寛延二・正・十三）　打曇懐紙一　幽治等　〔寛延二〕　写　H6・28
表八句のみ
〔百韻（寛延三・二・十四）〕　懐紙一　西山昌林・土橋良慶・養斎（改可久）　〔寛延三〕　写　H6・29
種玉庵主二百五十回千句第六　懐紙一　奥野保悟・舒成・土橋良慶　〔宝暦元〕　写　H6・30
初折のみの残欠
懐旧之連歌（明和三・五・十六）　懐紙四　辻葩資俊等　〔明和三〕　写　H6・31
懐旧之連歌（明和五・六・十）　懐紙四　辻葩資俊等　〔明和五〕　写　H6・32
懐旧之連歌（明和五・七・五）　打曇懐紙四　宗政等　〔明和五〕　写　H6・33
追悼之連歌（安永四・五・晦）　打曇懐紙四　宗政等　〔安永四〕　写　H6・34
賦何船連歌（天明五・三・二十三）　懐紙四　土橋重賢等　〔天明五〕　写　H6・35
三十歩法楽
賦何路連歌（天明七・十・十二）　横一　土橋重賢等　〔江戸中〕　写　H6・36
道明寺奉納

賦山何連歌（寛政七・十・二十五）　打曇懐紙四　里村昌寅等　〔寛政七〕　写　H6・37

賦御何連歌（寛政八・二・二十一）　懐紙四　土橋重賢等　〔寛政八〕　写　H6・38

賦何人連歌（寛政八・十一・二十三）欠懐紙二　土橋重賢等　〔寛政八〕　写　H6・39

初折、二折のみ存

亡父紹碩十七回忌追悼（寛政八）

賦御何連歌（文化五・三・二十四）　懐紙二　里村昌寅等　〔寛政八〕　写　H6・58

賦何世連歌（文化十・三・二十三）　懐紙四　土橋重賢等　〔文化五〕　写　H6・40

賦何路連歌（文化十三・三・二十三）　懐紙四　土橋重昌等　〔文化十〕　写　H6・41

耕雲居士十七回忌追悼（天保六・八・十九）　懐紙四　致等　〔文化十三〕　写　H6・42

付、発句二句　懐紙二　里村昌寅等　〔天保六〕　写　H6・43

賦初何（天保七・三・一　三十歩法楽）　懐紙二　正道等　〔天保七〕　写　H6・44a

懐旧之連歌（弘化四・五・二十二　土橋宗静尊霊百五十回忌）　懐紙四　喜載等　〔弘化四〕　写　H6・44b

付、一、土橋宗静百五十回忌追善道礼発句

二、懐旧（包紙）　短冊二　常晃・喜載発句

三、懐旧（包紙）　短冊三　道一・道定・道房発句

四、追悼（包紙）　短冊一　山上重明発句

五、追悼（包紙）　短冊一　三上正恒発句

六、追悼（包紙）　短冊一　末吉宗考発句

賦何衣連歌（嘉永二・二・二十五　聖廟之法楽）　懐紙四　三上正恒等　〔嘉永二〕　写　H6・45

賦初何連歌（嘉永二・三・二十六　三十歩法楽）　懐紙四　土橋道礼等　〔嘉永二〕　写　H6・46

土橋宗伯居士百回諱追悼連歌（嘉永二・五・十九）　懐紙四　喜載等　〔嘉永二〕　写　H6・47

和漢聯句　懐紙二　節斎等　〔江戸中〕　写　H6・48

発句、あふきよれはいよ〳〵高し雲の峯　一巻　土橋友直等　〔江戸中〕　写　H6・49

〔連歌百韻〕　懐紙二　寸閑・如水　〔江戸中〕　写　H6・50

発句、卯花やとふ跡つけぬ雪の庭

〔連歌百韻〕　懐紙二　西山宗春等　〔江戸中〕　写　H6・51

発句、隔なよ心やひかり月の友

裏、宗伴自筆詠草

懐旧　一巻　道次等　〔江戸中〕　写　H6・52

発句、夏衣今かへす世に夢もかな

三折表七句目まで

宗春処士懐旧年頭会（一・九・二十八）　懐紙二　西山昌察等　〔江戸中〕　写　H6・53

発句、慕ふ世や忘ぬ夢を秋の暮

三折表九句目まで

懐旧　一巻

発句、人はむかし見れは見し世の五月哉

三折表十二句目まで

［千句連歌断簡］　懐紙二　正俊等　〔江戸中〕　写　H6・54
第三　千何　おられぬは深沼や花のかきつはた　正俊
第十　花何　友舟と水の一葉や三ヶの月　広行

［連歌百韻］　懐紙二　奥野保悟・義鎮　〔江戸中〕　写　H6・55
発句、言の葉の種とれ庭の萩の露

［連歌断簡］　懐紙一　舒成・宗能　〔江戸中〕　写　H6・88
発句、たむたくや星も北野の神の梅
いずれも初折のみ、裏、土橋良恵宛書簡包紙

［連歌百韻］　懐紙二　岡延宗（南曲）　〔自筆〕　写　H6・56
発句、今年より花も咲つけつくは山

［昌逸合点連歌］　一巻　〔江戸末〕　写　H6・57
発句、色替ぬ松かけ深し秋の庭

十百韻第一　一巻　実仙等　〔江戸中〕　写　H6・59
発句、神松は千世を限らぬ茂り哉
二折裏十二句目まで

両吟　一葉　土橋友直・土橋宗信　〔江戸中〕　写　H6・60
発句、ひこはへにさくや老木も花盛
二折裏十三句目まで

［千句連歌断簡］　懐紙五　広行等　〔江戸中〕　写　H6・61
第三樗　朝何　□したふ樗哉　広行
第四蟬　何文　古代をうつせみんとて鳴音哉　奥野清順

第八撫子　何船　撫子は岩ほを花の根さし哉　宗通 二折裏十四句目まで以下欠				
両吟	一葉	常知・土橋友直	〔江戸中〕	写
発句、遠山や花のおもかけ春の雪 表八句のみ存				H6・62
何舟（五月十七日夕陽庵）	懐紙一	如幽（三上令直）等	〔江戸中〕	写
発句、頼みあれや植て秋まつ若早苗 二折裏十四句目まで以下欠				H6・63
［連歌］	懐紙一	元高等	〔江戸中〕	写
発句、句はすは花とな見せそ雪の松 二折裏十四句目まで以下欠				H6・64
［連歌］	懐紙一	里村昌純等	〔江戸中〕	写
発句、無をしたふね覚しりてか郭公 二折裏十四句まで以下欠				H6・65
［連歌］	懐紙一	達禅・土橋良慶	〔江戸中〕	写
発句、浪の花ちるも長閑き浦半かな 二折裏十四句目まで以下欠				H6・66
追悼之連歌	打曇懐紙一	土橋良慶等	〔江戸中〕	写
発句、蝶やおもふ今日は人こそ夢の春 二折裏十四句目まで以下欠				H6・67

宗直先生懐旧	懐紙一	西山昌林等	〔江戸中〕	写	H6・68
発句、古人を夢とやみそち三の春					
二折裏十四句目まで以下欠					
宗春処士懐旧	懐紙一	盈枝等	〔江戸中〕	写	H6・69
発句、おしやけふ語る昔もくれの秋					
二折裏十四句目まで以下欠					
[連歌断簡]	懐紙一	綱利等	〔江戸中〕	写	H6・70
発句、交れは柳も梅の匂ひかな					
二折十四句目まで以下欠					
[連歌断簡]	懐紙一	林仙等	〔江戸中〕	写	H6・71
発句、顕れつかくれつ雪の梢かな					
二折裏十四句目まで以下欠					
[連歌断簡]	懐紙一	昌海等	〔江戸中〕	写	H6・85
発句、鶯の喬木になれん初音哉					
[連歌断簡]	懐紙一	末吉宗久・以春	〔江戸中〕	写	H6・72
初折、二折欠					
[連歌断簡]	懐紙一	土橋友直等	〔江戸中〕	写	H6・73
初折、二折欠					
[連歌断簡]	懐紙一	土橋友直等	〔江戸中〕	写	H6・74
初折、二折、三折欠					

写	H6・75	〔江戸中〕	西山昌札等	懐紙一
写	H6・76	〔江戸中〕	末吉宗伴等	懐紙一
写	H6・77	〔江戸中〕	奥野祐可等	懐紙一
写	H6・78	〔江戸中〕	土橋友直等	懐紙一
写	H6・79	〔江戸中〕	土橋友直等	懐紙断簡一
写	H6・80	〔江戸中〕	土橋友直等	懐紙断簡一
写	H6・81	〔江戸中〕	奥野祐可等	欠一巻
写	H6・82	〔江戸中〕	昌格等	懐紙断簡一
写	H6・83	〔江戸中〕	昌格等	懐紙一
写	H6・84	〔江戸中〕	如幽(三上令直)等	一巻(首欠)
写	H6・86	〔江戸中〕	末吉宗伴等	懐紙二
写	H6・87	〔江戸中〕	末吉宗伴等	懐紙断簡一

［連歌断簡］初折・二折欠

［連歌断簡］二折裏七句目まで欠

［連歌断簡］初折・二折欠

［連歌断簡］三折表三句目まで欠

［連歌断簡］

［連歌断簡］

［連歌断簡］初表六句目まで欠、春・可・幽・伴・信・律六吟

［連歌断簡］

［連歌断簡］初折・二折欠

［連歌］発句・脇欠

［連歌断簡］初折・二折欠

［連歌断簡］

〔連歌断簡〕　懐紙一　土橋重賢等　〔江戸末〕　写　H6・89
初折・二折欠

7　百韻注釈

〔宗伊宗祇湯山両吟注〕　半　一　〔江戸末〕　写　H7・1
〔寛文六年霜月玄俊等百韻注〕　横　一　里村祖白注　〔江戸中〕　写　H7・2
〔里村昌程追善昌陸独吟千句注〕　中　一　瀬川昌坪注　〔江戸中〕　写　H7・3
元禄五年十月昌坪奥
家君独吟連歌百韻・文車序并抜書　半　一　土橋宗信　〔江戸中〕　写　H7・4
一、享保八年十一月十二日　土橋宗信独吟懐旧百韻注
二、文庫序并抜書（三十六人歌合・中古三十六人歌合・新三十六人歌合・女房三十六人歌合・雪月花等）
〔昌迪独吟連歌并注（東府大御所君追悼）〕　横　一　里村昌迪　〔江戸末〕　写　H7・5

8　連歌集

〔連歌集〕　横　一　寛政六　土橋重賢　写　H8・1
一、宗祇独吟　三嶋千句　文明三春
二、菅神御独吟　発句、紅に雪こそ匂へ梅の花
三、宗祇・宗長・肖柏　水無瀬三吟　長享二・正・廿二

四、宗祇　老のすさみ抜書

五、〔連歌作法書〕

〔連歌集〕　横　一　〔江戸中〕　写　H8・2

一、紹永等　唐何連歌百韻（文明八・三・河瀬千句の中）

二、心敬　芝草句之内

三、肖柏・宗長・宗祇　何人連歌百韻（湯山三吟ノ第三まで）

付、和歌、連歌注等

〔連歌集〕　横　一　〔元禄頃〕　写　H8・3

一、里村昌億等　何木連歌百韻　元禄十一年正月十九日　石出帯刀興行

二、里村昌築等　何舟連歌百韻　元禄十一年正月廿四日　日輪寺興行

三、清純等　連歌百韻　元禄十一年正月廿六日　有馬左衛門佐殿作代

四、里村昌億等　連歌百韻　元禄十一年正月廿九日　松平大膳太夫家来国司与兵衛興行

五、直矩等　連歌百韻　元禄十一年二月朔日　堀長門守殿例年夢想開

六、里村昌億等　和漢連歌百韻　元禄十一年二月三日　深尾権左衛門興行

七、元通等　夢想和漢連歌百韻　元禄十一年二月五日　細川桃庵興行

八、里村昌億等　何人連歌百韻　元禄十一年二月七日　西東刑部興行

九、隆紀等　和漢連歌百韻　元禄十一年二月九日　於鍋嶋備前守殿興行

平野六吟連歌　半　一　〔元禄頃〕　写　H8・4

一、西山宗春等　玉何連歌百韻　元禄十六年

二、奥野祐可等　唐何連歌百韻

三、末吉宗律等　連歌百韻

四、如幽（三上令直）等　連歌百韻

五、土橋良恵等　連歌百韻
六、末吉宗伴等　連歌百韻

〔和漢連歌集〕　横　一　〔元禄頃〕　写　H8・5

一、蓉等　和漢連歌百韻　元禄十一年十二月十七日　於八尾興行
二、玄春等　和漢連歌百韻　元禄十一年十二月十八日　於八尾興行
三、玄隆等　和漢連歌百韻　元禄十二年二月十八日　於八尾興行
四、長英等　和漢連歌百韻　元禄十二年六月朔　於八尾興行
五、治盈等　和漢連歌百韻　元禄十二年八月四日　於平野庄大門坊興行

〔連歌集〕　半　一　〔江戸中〕　写　H8・6

一、里村昌琢等　連歌百韻　元和四年正月廿六日
二、里村昌琢等　連歌百韻　元和四年三月六日
三、里村昌琢等　山何連歌　元和四年九月十五日
四、寛佐独吟　昌琢法橋周閑追薦連歌百韻　寛永十四年二月五日
五、岩手英方・以省両吟　懐旧連歌百韻
六、岩手英方・西山宗因両吟　連歌百韻
七、西山宗因独吟　連歌百韻　寛永十六年中冬
八、岩手英方独吟　昌琢追善　霊鑑連歌百韻序あり
九、宗祇等　何路連歌百韻　長享二年四月廿五日　宗祇宗匠始
十、独吟懐旧連歌百韻注　武州吉羽兵衛少輔泰繁母追善

雨のつれ〳〵　中　一　〔元文元〕　土橋保長　写　H8・7

一、肖柏・宗長・宗祇　何人連歌百韻（湯山三吟）
二、宗祇・肖柏・宗長　何人連歌百韻（水無瀬三吟）
三、細川藤孝等　和漢連歌百韻

〔連歌集〕　半　一　〔江戸中〕　写　H8・8

一、土橋友直等　何船連歌五十韻　於宇野玄春老宅連中為稽古興行
二、奥野清順等　何人連歌百韻　元禄十三年三月十九日　於権現社寺東之坊月次

〔連歌集〕　大　一　〔江戸中〕　写　H8・9

一、宗養独吟　何船連歌百韻　発句、焼袖に春風近し梅の花
二、里村昌程等　初何連歌百韻　寛永十五年十月
三、里村玄仲等　経文連歌百韻　元和四年四月十二日　紹巴十七回忌
四、白(道澄)等　何船連歌百韻　天正六年九月十一日
五、柴庵独吟　連歌百韻　寛永十一年三月廿五日　於芳野　昌琢合点

京連歌　中　一　〔江戸中〕　写　H8・10

一、里村昌琢等　懐旧連歌百韻　発句、昔にやけふさり帰る袖の露
二、里村昌琢等　連歌百韻　発句、ひたゝけて水ゆく雨の五月哉
三、里村昌琢等　連歌百韻　発句、暑き日は手先さえきる泉哉
四、里村昌琢等　初何連歌百韻　発句、菊紅葉折はつゝりの袂かな
五、里村昌琢等　何人連歌百韻　発句、国〳〵のかけけしめなし空の月
六、里村昌琢等　何舟連歌百韻　発句、万木の松や思む初子の日
七、里村昌琢等　何人連歌百韻　発句、見ぬ山の紅葉を風の伝も哉
八、里村昌琢等　連歌百韻　発句、夜かれせぬ音や時雨の板ひさし

〔連歌集〕　半　一　〔元禄三〕　写　H8・11

一、里村昌琢独吟　連歌百韻　発句、いさ清きこころの花や千々の春
二、里村昌琢等　連歌百韻　寛永五年正月二日　山宮道喜興行
三、里村昌琢等　連歌百韻　寛永五年正月十四日　脇坂淡路興行

四、里村昌琢等　連歌百韻　寛永五年正月十四日　樽屋藤左衛門興行
五、禅意等　連歌百韻　元和五年正月三日　於北野松梅院
六、里村昌琢等　連歌百韻　元和五年六月十八日　於越前宰相殿興行
七、色(八条宮智仁親王)等　連歌百韻　元和五年正月廿六日　於八条様御月次始
八、里村昌琢等　連歌百韻　寛永四年十二月廿五日　金森出雲興行

〔連歌集〕　半　一　〔江戸中〕　写　H8・12

一、里村昌琢等　何船連歌百韻　元和二年十月廿六日　源氏竟宴
二、梧(近衛信尋)等　連歌百韻　寛永十一年四月十二日　紹巴法眼三十三回忌追善
三、里村昌程等　連歌百韻　承応二年七月十八日　昌俱法橋三回忌追善
四、里村昌程等　連歌百韻　慶安二年十二月廿八日　末吉宗覚十七回忌

〔連歌集〕　半　一　〔江戸中〕　写　H8・13

一、里村昌琢等　何木連歌百韻　於高野山興山寺　発句、けふにあひて咲や菊の名高野山
二、里村昌琢等　何船連歌百韻　於宝性院　発句、男鹿さへなれて聞よる御法哉
三、里村昌琢等　山何連歌百韻　於無量寿院　発句、秋は月に心をうつす鏡哉
四、里村昌琢等　何路連歌百韻　於正智院　発句、木々の色もうき世の外の深山哉
五、里村昌琢等　何船連歌百韻　於安養院　発句、猶なかき夜をつく霧の朝戸哉

〔連歌集〕　半　一　元禄十二　末吉宗伴　写　H8・14

一、高秀等　名号之連歌百韻　天正十三年五月廿六日
二、宗周等　名号之連歌百韻　天正十三年六月八日　為清頓追善
付、末吉宗伴識語、及び宗周以下作者略伝

〔連歌集〕　横　一　〔江戸中〕　写　H8・15

一、正勝等　夢想和漢連歌百韻　寛永六年正月廿五日　於讃岐金刀比羅宮

二、一条冬基等　和漢連歌百韻　延宝三年八月十五日　於法皇御所
三、里村昌程等　何船本式連歌百韻　寛文五年九月廿八日　於清水寺光乗院
四、瑛句等　何人本式連歌百韻　延宝三年七月廿九日

〔連歌集〕　半　一　〔江戸中〕　写　H8・16

一、道晃等　連歌百韻　寛文十年十二月九日、新院御所様御会
二、道晃等　連歌百韻　寛文十二年六月廿一日、新院御所様御会
三、猪苗代兼寿等　白何連歌百韻　寛文十二年九月四日　法皇様御会
四、滋野井季吉等　連歌百韻　寛永十年五月十一日　於仙洞様御会

〔連歌集〕　半　一　〔江戸中〕　写　H8・17

一、里村昌億等　連歌百韻　元禄十一年二月十二日　松平大膳太夫殿興行
二、里村昌億等　何路連歌百韻　元禄十一年二月十四日　松平伯耆少将殿家来於鳥養林庵小屋興行
三、綱政等、連歌百韻　元禄十一年二月十六日　於亀井戸社内　松平肥前守殿作代興行

〔連歌集〕　半　一　〔江戸中〕　写　H8・18

一、以春独吟　連歌百韻　里村祖白・西山宗因・里村昌程点
二、至鎮独吟　何人連歌百韻　元和五年正月　里村昌琢・能札点
三、亡兄追善独吟連歌百韻　発句、かはくなよそをたに記念袖の露　里村昌程点
四、英等　漢和連歌百韻　発句、私秋冬苑菊
五、梧(近衛信尋)等　追善連歌百韻　寛永十一年四月十二日　紹巴法眼追善
六、肖柏独吟　何人連歌百韻　永正元年正月
七、言(道興)・専順・宗祇・紹永　何路連歌百韻　文明四年十月廿六日　聖護院御下向の時於濃州
八、宗祇独吟　何人連歌百韻　発句、限さへ似たる花なき桜かな
九、里村昌程・里村昌隠　里村祖白追悼連歌百韻　発句、片枝枯てのこるも哀老木哉

十、里村昌隠・里村祖白　追善連歌百韻　里村昌倪十三回忌

〔連歌集〕　半　一　　享保二十　土橋保長　写　H8・19

一、能順等　連歌四百韻　延宝八年三月
二、能順・元故　連歌百韻　元禄二年七月七日
三、政在・可春・能順　連歌百韻　元禄元年三月　賀州於山代湯本
四、禾(風早中納言)等　和漢連歌百韻　発句、見る人のしけきにとまれ花の宿

〔連歌集〕　半　一　　〔江戸中〕　写　H8・20

一、里村昌純等　連歌百韻　元禄十三年正月十九日　石出帯刀新宅開興行
二、里村昌億等　何船連歌百韻　元禄十三年正月廿六日　松平大膳太夫殿興行
三、直矩等　夢想連歌百韻　元禄十三年二月一日　堀長門守殿興行
四、里村紹山等　懐旧連歌百韻　元禄十三年正月廿一日　亡父里村仍春三年忌　紹山興行
五、綱政等　連歌百韻　元禄十三年二月十六日　於亀井戸天神　松平肥前守張行
六、里村昌億等　連歌百韻　元禄十三年六月二日　佐渡住人奥林久左衛門興行
七、文興等　何船連歌百韻　元禄十三年六月十七日
八、純安等　何人連歌百韻　元禄十三年六月十九日
九、純安等　何船連歌百韻　元禄十三年六月廿四日

六百韻　半　一　　〔江戸中〕　写　H8・21

一、春(近衛前久)・宗養　何人連歌百韻　発句、月なからおるともおらし萩の露
二、宗養等　初何連歌百韻　永禄六年十一月二日　於芥川
三、里村紹巴等　宗養追善連歌百韻　発句、遠さかる跡いやはかなとも千鳥
四、里村紹巴独吟　懐旧連歌百韻　永禄六年冬　三条西公条の追善連歌
五、宗養独吟　何船連歌百韻　発句、見残すやけふ夢の世の秋の風

六、義貞独吟　追善百韻　兄弟の弔　発句、つみて見んおなしかさしの花形見
七、忠元発句
八、宗訊等発句
九、天正十七年元日　紹巴等連歌三物

和漢集　横　一　〔江戸中〕　写　H8・22

一、漢和連句　最岳等　発句、桜開山又雪
二、福住道祐　七言律詩等書留

〔連歌集〕　横　一　〔江戸中〕　写　H8・23

一、里村玄的独吟　何木連歌百韻　発句、梅か香をしるしや四方に神の庭
二、里村昌陸等　何船連歌百韻　元禄十一年三月吉日　宗長居士自筆名判有之文台開

〔連歌集〕　半　一　〔江戸中〕　写　H8・24

一、昌海点　連歌百韻　元禄十四年八月十八日　亡父三十三回忌
二、禾(風早中納言)等　和漢連歌百韻　発句、見る人のけしきにとまれ花の宿
三、能順　連歌百韻　元禄四年八月　素庵空溪居士悼
四、能順等　何風連歌百韻　発句、桜狩木伝ひ暮す山路哉
五、元胡　懐旧連歌百韻　発句、昔とは只月かすむ袂哉
六、能順　外宮法楽連歌百韻　発句、天のとや花よりしらむ神路山

六吟三百韻　半　一　〔江戸中〕　写　H8・25

一、西山宗春等　連歌百韻　発句、林よりかゝやき出つ初紅葉
二、末吉宗律等　連歌百韻　発句、遊ふ糸に人もよりくる春野哉
三、奥野祐可等　連歌百韻　発句、木枯の風や宿かる軒の松

連歌（宗孝百韻・令直百韻・元高百韻）半　一　　享保十六　敬直　　写　H8・26

一、宗孝等　平野月次之会連歌百韻　享保十五年十一月十九日

二、三上令直等　懐旧之連歌百韻

三、元高等　連歌百韻

連歌集　横　一　〔延享〕　　写　H8・27

一、畠林等　賦何舟連歌百韻　延享五年二月二十三日　於浪華弁角亭張行　折文台之開

二、宗森等　四十賀連歌百韻　延享三年三月　西山昌林四十賀

三、宗政等　追悼連歌百韻　延享三年二月　於大門坊興行　三上直喜追悼

四、西山昌林等　懐旧連歌百韻　延享三年四月同四年五月十日満座　土橋宗静五十年忌

五、土橋良慶等　追悼之連歌百韻　延享三年四月　於宝寿坊堺井上正臣追悼興行

六、常興等　玉何連歌百韻　延享三年七月月次会　於光源寺興行

七、中瀬常行等　連歌百韻　延享三年八月月次会同月廿五日　於東坊興行

八、常元等　連歌百韻　延享三年九月月次会同廿五日　於東坊興行

九、弘道等　連歌百韻　延享三年十月月次会

十、由章等　連歌百韻　延享三年十一月月次会

十一、西山昌林等　懐旧連歌百韻　延享三年十月　末吉宗律十七回忌

十二、智永等　連歌百韻　延享四年七月月次会

十三、増永等　連歌百韻　延享四年九月月次会

十四、舒成等　連歌百韻　延享五年三月中旬満座

連歌　横　一　〔明和〕　　写　H8・28

一、利器等　連歌百韻　宝暦十四年三月月次会

二、利器等　青何連歌百韻　宝暦十四年正月月次会　七月十日満座

三、辻葩資俊等　懐旧連歌百韻　宝暦十四年八月八日　土橋良慶君追悼　四月十五日一廻出ル
四、三上益利等　連歌百韻　宝暦十四年二月末　重栄の主の許にまかりて庭松を見て
五、亮弘等　連歌百韻　明和三年七月月次
六、宥伝等　連歌百韻　明和三年八月月次
七、宗政等　追悼連歌百韻　辻葩宗俊君追悼
八、辻葩資俊等　懐旧連歌百韻　明和三年五月十九日　土橋宗伯十七回追悼
九、宗政等　懐旧連歌百韻　明和三年九月十三日満座　中瀬常行霊
十、常元等　連歌百韻　明和三年九月月次

〔連歌集〕　横　一　〔宝暦〕　写　H8・29

一、用成等　梅連歌百韻　発句、かせをしたひあかぬは梅の匂ひ哉
二、三上益利等　柳連歌百韻　発句、春風に梢もうこく柳かな
三、辻葩資俊等　連歌百韻　宝暦十三年二月八日暮かた蹴鞠の会にまかり出て
四、惟明等　柳連歌百韻　発句、春風のすがたをみする柳かな
五、重栄等　橘連歌百韻　発句、たち花は桜にまさる筆香かな
六、元映等　夕たち連歌百韻　発句、白雨は軒に滝なす闇かな
七、重栄等　連歌百韻　初裏十二句目まで

〔連歌集〕　横　一　〔明和二〕　写　H8・30

一、亮弘等　十百韻連歌　第一発句、神そしけきめくみは外に夏木立
二、亮弘等　懐旧連歌百韻　発句、遠き風したふや袖の手馴草
三、常元等　三十歩法楽連歌百韻　発句、藤浪をかけまくも神の恵みかな
四、亮弘等　祇園法楽何路連歌百韻　発句、涼しさは常盤にしるや神の春
五、尚喜等　聖廟法楽何船連歌百韻　明和二年二月二十三日

明和三戌年聖廟法楽・三十歩・十百韻・祇園法楽・懐旧　横　一　〔明和三〕　写　H8・31

一、立永等　聖廟法楽連歌百韻　発句、天地にみつる匂ひや神の梅
二、尚喜等　三十歩御法楽　何人連歌百韻　発句、千世かけし神のかさしや松の藤
三、亮弘等　十百韻連歌　第一発句、万木におよふ茂りや神の杜
四、亮弘等　祇園御法楽連歌百韻表七句
五、龍鑲等　懐旧連歌百韻　発句、したふ風に猶遠き世をあふき哉
六、亮弘等　戌年(明和三)社役千句三ッ物割

明和五戌子歳聖廟法楽・三十歩法楽・十百韻・祇園法楽・懐旧　横　一　〔明和五〕　写　H8・32

一、家城等　聖廟法楽連歌百韻　発句、梅花幣と手向よ神の前
二、亮弘等　十百韻抜書　第一発句、しけりてはみな常盤木や神の森
三、宥伝等　懐旧連歌百韻(二折表九句目まで)

天明三卯年社役連歌　横　一　〔天明三〕　写　H8・33

一、由章等　聖廟法楽連歌百韻(二折表五句目まで)
二、恭成等　三十歩社法楽連歌百韻(二折表八句目まで)
三、光円等十百韻　第一発句、世々かけて言の葉茂れ神の森、第三、三折裏十一句目まで、第四、二折裏まで
四、光円等　祇園法楽連歌百韻　発句、涼しさや神の恵みを松の風
五、由頼等　懐旧連歌百韻(初折裏六句目まで)

天明四辰年社役連歌　横　一　〔天明四〕　写　H8・34

一、光円等　十百韻　第一発句、茂れるや氏のさかへも神の森　第三以下欠あり
二、実輝等　三十歩社法楽連歌百韻(二折表六句目まで)

三、惟明等　聖廟法楽連歌百韻　発句、香や天にとひあかる神の梅の風
四、信教等　懐旧連歌百韻（途中一部欠）

寛政八辰年二月聖廟法楽・三十歩・十百韻・祇園法楽・懐旧

横　一　　寛政八　土橋重賢　写　H8・35

一、土橋重賢等　聖廟法楽御何連歌百韻　発句、咲度に匂ひやあらた神の梅
二、正明等　三十歩山何連歌百韻　発句、御田に聞声や蛙の祝ひ歌
三、宥保等　十百韻　第一発句、広前に事たる木々の茂かな
四、宥保等　祇園法楽連歌百韻　発句、神風は普く薫る恵みかな
五、長道等　懐旧連歌百韻　発句、したふ香を残せるは幾昔草
六、発句十四句

文政五午年社役連歌聖廟・三十歩・十百韻・祇園法楽

横　一　　〔文政五〕　致　写　H8・36

一、道房等　平野郷天満宮法楽連歌百韻　文政五年二月廿五日
二、三十歩社法楽青何連歌百韻　文政五年三月廿六日
三、宥信等十百韻　第一発句、枝も千木の若葉の奥の宮居かな　第七欠
四、宥信等　祇園法楽何世連歌百韻　発句、涼しさを神のしのゆふ木陰かな
五、正正等　懐旧連歌百韻　文政五年六月

〔連歌集〕

横　一　　〔天保三〕　土橋直温　写　H8・37

一、土橋直温等　聖廟之法楽連歌百韻　天保三年二月廿三日
二、重勇等　三十歩法楽賦玉何連歌百韻　天保三年三月廿三日
三、宥信等　社役十百韻　天保三年四月一日　第一発句、打靡く森の若葉や青幣
四、宥信等　祇園之法楽御何連歌百韻　天保三年六月

五、恵信等　等坫法師懐旧連歌百韻　天保三年六月十八日

天保四年癸己二月社役連歌　横　一　〔天保四〕土橋直温　写　H8・38

一、重勇等　聖廟之法楽初何連歌百韻　発句、文好む花や御こゝろ神の庭
二、常倫等　三十歩法楽賦初何連歌百韻　三月廿九日
三、宥信等　十百韻　第一発句、年の葉の茂りて高し神の森
四、宥信等　祇園之法楽賦花何連歌百韻　六月三日
五、道房等　等坫法師懐旧連歌百韻　六月十八日

天保四年甲午二月社役連歌　横　一　〔天保四〕土橋直温　写　H8・39

一、宥信等　聖廟之法楽賦何路連歌百韻　二月廿三日
二、宗義等　於三十歩社法楽賦玉何連歌百韻　三月廿三日
三、宥信等　十百韻（四月九日～五月廿九日）　第一発句、神こゝにます〳〵茂る木立哉
四、宥信等　祇園之法楽御何連歌百韻　五月廿九日
五、土橋直温等　等坫法師懐旧連歌百韻　天保五年六月十七日
付、一、里村昌寅等　昌雲法師大祥忌追悼連歌　懐紙一　天保五年六月三日
二、土橋直温等　連歌断簡　一葉

天保六年未四月社役十百韻・祇園法楽・懐旧

横　一　〔天保六〕土橋直温　写　H8・40

一、宥信等社役十百韻　天保六年四月二十四日　第一発句、朝露の玉垣清き若葉哉
二、宥信等　祇園之法楽山何連歌百韻　発句、結ひよる瑞籬涼し祇園
三、宥信等　懐旧連歌百韻　発句、月の入西やすましき道しるべ

天保八年酉二月聖廟・三十歩・祇園・十百韻・懐旧

横　一　〔天保八〕土橋直温　写　H8・41

一、宗義等　聖廟法楽何路連歌百韻　天保八年二月二十三日
二、道一等　三十歩社法楽何人連歌百韻　四月二十五日
三、宥信等十百韻（四月二十六日～）第一発句、日々に新たに茂れ神の森
四、宥信等　祇園之法楽何木連歌百韻　六月四日
五、土橋道礼等　懐旧連歌百韻　六月二十日

天保九年戊戌二月聖廟・三十歩・祇園・十百韻・懐旧

横　一　〔天保九〕土橋直温　写　H8・42

一、道一等　聖廟法楽何風連歌百韻　発句、神こゝろ直なる梅の立枝哉
二、常晃等　三十歩法楽何木連歌百韻　発句、松にひく注連や幾世の藤かつら
三、宥信等　十百韻　第一発句、年々に茂る言葉や神の森
四、宥信等　祇園之法楽御何連歌百韻　発句、影涼し月のよるへの水かゝみ
五、道一等　懐旧連歌百韻　発句、手向とや世々の末つむ花筐
六、里村昌寅等　懐旧連歌百韻　天保九年戊六月廿二日宗義亭にて張行、末吉宗名居士五十回諱
七、土橋直温独吟　聖廟奉納連歌八句　天保九年戊戌四月十三日道明寺開張参詣

天保十年己亥二月聖廟・三十歩・祇園・十百韻・懐旧

横　一　〔天保十〕土橋直温　写　H8・43

一、常晃等　聖廟之法楽何路連歌百韻　五月二十五日（破損あり）
二、道房等　三十歩法楽御何連歌百韻　五月二十五日
三、恵信等　十百韻（五月十一日～）第一発句、かたそきの行合の間や夏木立　第六以下欠脱あり
四、恵信（別当代）等　祇園之法楽何舟連歌百韻　六月十二日

五、常晃等　懐旧連歌百韻（三折表まで）

天保十一年子四月十百韻・祇園法楽

横　一　〔天保十一〕　土橋直温　写　H8・44

一、恵信等　十百韻（五月二十六日～）　第一発句、神松の千とせを千枝の茂り哉
二、恵信等　祇園之法楽何人連歌百韻　発句、神こゝにます〳〵涼し松の声

天保十二年辛丑二月聖廟・三十歩・祇園・十百韻・懐旧

横　一　〔天保十二〕　土橋直温　写　H8・45

一、道房等　聖廟法楽連歌百韻（二折裏まで）
二、道定等　三十歩法楽連歌百韻（二折裏十三句目まで）
三、恵信等　十百韻　第一発句、かけそふや若葉に注連の八重榊　各巻欠脱あり
四、恵信等　祇園法楽連歌百韻（二折裏二句目まで）
五、正道等　懐旧連歌百韻（二折裏二句目まで）

〔連歌集〕　懐紙五　〔天保九〕　写　H8・46

一、常倫等　天保九年戊六月二日終焉松樹院日苔昌寅宗匠追悼連歌百韻（三折裏まで）
二、里村昌寅等　修光院昌雲居士七回忌追悼連歌百韻　発句、はかなきか面影にたて雲の峯
三、里村昌寅等　何人連歌百韻　発句、神やもる木陰に散も遅もみち

9　三物

〔元和年間千句三物〕　半　一　〔江戸初〕　写　H9・1

一、元和七酉年五月九日平野千句三物　第一発句、待うるやおさまれる世の花の宿、高台院

二、元和九年三月八日三物　第一発句、けふ引やたらぬ子日の岩の松　高台院
三、連衆名寄

〔連歌三物〕　半　一　〔江戸中〕　写　H9・2

一、御城会　(三句のみ)
二、何人　(三句のみ)
三、大原千句　白(聖護院道澄)等
四、〔千句〕第一発句、皆人のたゝ有方の春日哉
五、三鳴千句　宗祇
六、もり千句(毛利千句)第一発句、世とともに花咲さかむ若木哉
七、元日三物等

〔慶安五年天神七百五十年忌万句三物〕　大　欠一(首欠)　〔江戸中〕宗正　写　H9・3

海部屋市左衛門興行千句三物　半　一　里村昌億等　〔江戸中〕　写　H9・4

付、江戸歳旦等

権現十百韻第三付　半　一　達賢等　〔江戸中〕　写　H9・5

元禄十二年四月朔日・同十三年・同十四年・同十五年・同十六年

〔元禄十五年五月十八日千句三物〕懐紙一　昌格等　〔元禄十五〕　写　H9・6

懐旧連歌三物　中九―九　土橋宗静等　〔江戸中〕　写　H9・7

(一)元禄八～安永七　(二)安永八～天明元　(三)宝永二～正徳五　(四)享保九・同十三・同十五(万句)
(五)享保十六～十八(万句)・同年千句・元文三・元文五・寛保元・同二　(六)寛保三～宝暦三
(七)宝暦四～同十四・(八)明和二～安永二　(九)安永四～天明四

辰年十百韻　懐紙一　亮海等　〔江戸中〕　写　H9・8

辛酉年社頭千句　懐紙一　末吉宗伴等　〔寛保元〕　写　H9・10

新発句覚近世分三物　半　一　正億等　〔江戸中〕土橋敬直　写　H9・11

千句三物名刻　懐紙一　土橋達賢等　〔江戸中〕　写　H9・12

聖廟法楽連歌三物　半　一　高辻胤長等　享和二　大阪天満宮社版　刊　H9・13

享和二年二月二十五日菅家神退九百年万句之連歌（第九十五、発句作者土橋重賢）

10　連歌雑書

〔社役田由来記〕　大　一　〔江戸末〕　写　H10・1

口上之覚　一葉　藤木四郎左衛門　自筆　H10・2

寛政十二年申七月晦日、京都里村昌逸内藤木四郎左衛門、摂州平野郷御役所宛

家君童子訓　半　一　土橋節斎　〔江戸中〕自筆　H10・3

付、一、連歌のこと葉　延享丙寅年十二月　土橋節斎

二、畏命の詞　延享丙寅十二月　土橋節斎

三、遷墓記　享保二十年卯秋七月三日

四、十番狂歌合　奥野保悟判

宗信君有馬山の記　大　一　土橋宗信　享保八　自筆　H10・4

付、一、花のしほり　享保八癸卯年三月　土橋宗信

二、松のこと葉　享保七年極月上旬　末吉宗伴

三、連歌仙三十六人時代不同　頓阿等　五楽堂宗春撰

菅家御記	大	一	（享保十六年十一月二十八日円山賀納奥）	〔寛延〕	土橋良慶	写	H10・5
付、一、宇佐宮奉納五十首御製歌　延享元年冬十月							
二、三勇和歌百首　曽根好忠・源仲正・源俊頼　寛延四年辛未夏四月廿四日写							
三、芝草奥書（ひとりごと）　心敬　寛延元年十二月廿五日謄写							
良恵君発句和歌草案	半	一		土橋良恵		〔江戸中〕	写	H10・6a
〔亥年子年歳暮発句和歌〕	半	一		土橋良恵等		〔江戸中〕	写	H10・6b
〔和歌・発句等書留〕	横	一				〔江戸中〕	写	H10・7
和歌・発句等書留								
〔和歌・発句書留〕	懐紙	四		末吉宗伴等		〔江戸中〕	写	H10・8
「去年のけふはをもくはつらいけるに事なく春をむかへて　末吉宗伴　又もあらしとい、しかこそのけふの春」以下、土橋宗信・法橋良弘・中瀬常奥・辻葩好胤・土橋資俊・土橋保長・西山昌林・松井政豊・森本宗範の作。								
和歌発句抜書	横	一		土橋宗永		宝暦十三　自筆		H10・9

I　俳諧

てくり舟　三～六	横欠四―四		阿知子顕成編		寛文十二	刊	I1
扶桑春	半	一	文明閣鳳山編		寛延四　松葉軒萬屋清兵衛	刊	I2
俳諧七部集　上・下	小	二	文化五		筒井庄兵衛等　再	刊	I3
東南繋時篇	大	一	一炊庵萬翁編		安永十成	刊	I4
誹諧古今句鑑　夏の部	小	欠一	素外編		〔天保六〕	刊	I5

〔両吟俳諧歌仙〕　懐紙二　一穂・虚舟　〔江戸中〕　写　I 6
　発句、有馬までとりよせにけり紙鳶（名残表二句目まで）
〔句集抄〕　横一　梅十等　〔江戸末〕　写　I 7
　付、十雨社交名書序　干当
〔笠附抜句集〕　半一　〔江戸中〕　写　I 8
平野綿町金比羅社奉額発句集　地巻　半欠一　梅旭（催主）・反古庵・井眉庵評点〔江戸中〕　写　I 9
都の噂　半一　飛知・巴草等　〔江戸中〕　写　I 10
泉州其日庵利斎居士追善発句集　折二　六龍舎稲生編　〔江戸中〕　写　I 11
冬季兼題発句集抜萃三十章　横一　〔江戸中〕　写　I 12
当座ほ句集　一巻　白雀円点　〔江戸中〕　写　I 13

J　漢詩文

雑説　中一　〔寛延元〕　写　J 1
　一、林君一之進墓誌銘　寛文十年十二月臘日宅氏道乙撰　寛延元年写
　二、養庵先生後藤君墓誌銘　香川修徳撰
　三、先府君養庵先生行状　享保十九年子省撰
　四、附録　養庵先生遺教　子省撰
祝寿詩文　大一　後藤養庵門人等編　享保二成　刊　J 2
宗信家君狂詩集　中一　〔江戸中〕　写　J 3
野馬臺詩講釋　横一　〔江戸中〕　写　J 4

K　物語

伊勢物語	大　一			〔江戸中〕	写　K1
伊勢物語　注入　下	大　欠一				刊　K2
酔露鈔伊勢物語　一～八	大　八			享保五菅雄奥書〔江戸中〕	写　K3
〔伊勢物語〕	大　欠一		河瀬菅雄	〔江戸中〕	写　K4
源語秘決	中　一		一条兼良	天正十、細川藤孝奥土橋保悟所持本転	写　K5
				寛延二　富敬	
〔源氏物語注（桐壺巻）〕	半　一			〔江戸中〕	写　K6
源氏巻歌	横　一			〔江戸中〕	写　K7
付、やまと言葉					
源氏歌目附	半　一			〔江戸中〕	写　K8
源氏物論（ママ）和歌幷解略	大　一			〔江戸末〕	写　K9

L　日記・紀行・随筆

十六夜日記　上下	半二―二		阿仏	享保廿一　土橋保長	写　L1
寂寞草新註（つれ〴〵草新注）一～四	大四―四		清水春流	寛文七　中野市右衛門	刊　L2
徒然草参考　六	大　欠一		恵空編	〔延宝六〕	刊　L3

四季物語（長明四季物語）　大　一　永禄元、三好長慶奥転〔江戸中〕　写　L4

備中日記　半　一　河瀬菅雄　〔江戸中〕　写　L5

淡海日記　半　一　藤原正晴　〔江戸中〕　写　L6

宝暦八年京彦根往復日記

和歌の徳をよろこへる辞　横　一　〔江戸中〕　写　L7

M 歌謡

御田植神事　半　一　大正十一　土橋知之進　写　M1

毎年正月十三日杭全神社御田植祭神事奉仕田植謡

近江八景・嵯峨名所　半　一　〔江戸中〕　柳陰庵　写　M2

N 謡曲

歌うら　升　一　〔江戸極初〕　写　N1

女郎花　升一（尾欠）　〔江戸極初〕　写　N2

班女　升一（尾欠）　〔江戸極初〕　写　N3

棹山　升　一　〔江戸極初〕　写　N4

春日龍神・鐘馗　中　一　〔江戸極初〕　写　N5

〔謡本五番〕　半　一　〔江戸極初〕　写　N6

高砂・野宮・浮舟・江口・誓願寺

俊成忠則・箙梅	半	一	寛永二	写	N 7	
龍田・蟻通	半	一	〔江戸中〕	写	N 8	
小袖そが	中	一	〔江戸中〕	写	N 9	
砧	半	一	〔江戸中〕	写	N 10	
舟橋	半	一	〔江戸中〕	写	N 11	
大社	半	一	享保六	写	N 12	
浮舟・班女・松虫	半	一	〔江戸中〕	写	N 13	
難波梅	半	一	〔江戸中〕	写	N 14	
雲林院	半	一	〔江戸中〕	写	N 15	
石橋	半	一	〔江戸中〕	写	N 16	
忠信	半	一	〔江戸末〕	写	N 17	
熊野の文・定家一字題	三葉		〔江戸中〕	写	N 18	
〔観世流謡本〕						
一、(第七) 志賀・ぬえ・小原御幸・紅葉狩・梅かえ	半	欠一	享保三 山本長兵衛	刊	N 19	
二、(第十八) 三輪・あたか・軒端梅・にしき木・雲林院						
〔謡名寄〕	横	一	〔江戸極初〕	写	N 20	
諷之名付	横	一	〔江戸中〕	写	N 21	
能之覚	半	一	享保六 利斎清太郎	写	N 22	

O 狂言

鷺流狂言　末広・梟山伏　半　一　宝暦九　三上直治郎益利　写　O1

鷺流狂言　二九十八・地蔵舞　半　一　宝暦九　三上益利　写　O2

鷺流狂言　祐ぜん・節ぶん・法師母・八句連歌・三人支離・朝日奈・瓜盗人・佐渡狐・隠狸・井弄　半　一　宝暦九　三上益利　写　O3

鷺流狂言　空腕・膏薬練　半　一　宝暦九　土橋八治郎　写　O4

〔鷺流狂言〕魚説法　半　一　宝暦九　末吉四郎三郎　写　O5

鷺流狂言　魚説法　半　一　宝暦九　三上益利　写　O6

P 浄瑠璃

庭涼操座敷　半　一　〔宝暦五〕山本九兵衛　刊　P1